

# シビエ モトCL 取扱説明書



本製品は二輪車用ヘッドランプです。

この度は、シビエ モトヘッドランプをお買い上げ頂き、誠に有り難うございました。

本製品の性能を100%発揮させるため、取付け・ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

取付けの際は「取扱説明書」を良く読み、理解してから正しい取付けを行って下さい。又、「使用上の注意事項」も必ずお読み頂き、正しくご使用下さい。尚、この取扱説明書は大切に保管しておいて下さい。

※本製品をお譲りになる場合は必ずこの取扱説明書も一緒にお渡し下さい。

## 構成部品

No	部品名	CL-1	CL-2
①	ヘッドランプ(レンズユニット)	1	1
	H4ゴムキャップ	1	1
	バルブ(H4 60/55W 12V)	1	1
	ポジションソケット	1	1
	ポジションソケット固定用グロメット	1	1
②	インナーリム	-	1
③	取扱説明書	1	1

※取付け前に必ず内容物を確認して下さい。

## 取付必要工具

一般工具

## 取付方法

本機の取付けはヘッドランプ等の車両部品を外して行いますので、外したパーツの紛失やパーツへ傷などを付けないように慎重に作業を行って下さい。販売店や整備工場への取付依頼をお奨めします。

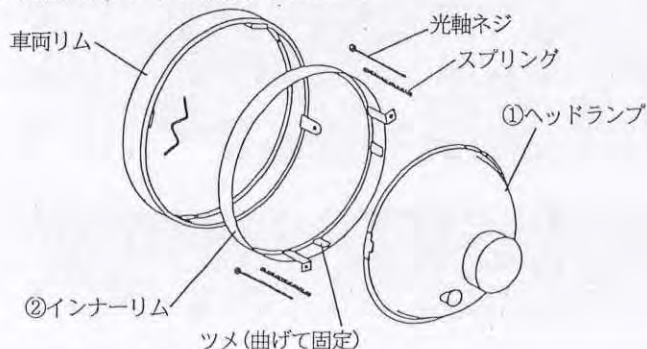
- (1) イグニッションキーをOFFにして、ヘッドランプを消灯させて下さい。
- (2) ヘッドランプが冷えているのを確認し、純正装着のヘッドランプを外し、シビエヘッドランプを車両に取付けて下さい。  
CL-2は付属のインナーリムを下記要領にて固定して下さい。CL-1装着の際、一部の車両で純正部品が必要です。  
※ヘッドランプの脱着は車両整備解説書を参考に作業を行って下さい。※取付完了後必ず光軸の調整を行って下さい。

### △ 注意

- ・ヘッドランプ点灯中や消灯直後はヘッドランプ(レンズ、バルブ、コネクタ、ハーネス等)が熱くなっているため、ヤケドの原因になります。ヘッドランプの熱が冷めてから取付作業を行って下さい。
- ・CL-2のインナーリムのエッジ部分は鋭利になっております。手等を切らない様に慎重に作業を行って下さい。ケガの原因になります。
- ・ランプの光軸調整は正しい設備のある場所で正しい方向へ調整して下さい。光軸が適正でないと対向車へ幻惑を与え、交通事故を誘発させる原因になります。

### CL-2 取付方法

- (1) 純正装着のヘッドランプを外して下さい。
- (2) 付属の②インナーリムに①ヘッドランプをはめ込み、②インナーリムのツメを曲げて①ヘッドランプを確実に固定して下さい。
- (3) ①ヘッドランプを固定した②インナーリムを車両オリジナルのリムに固定し、光軸ネジ及びスプリングを取付けて下さい。
- (4) 車両ヘッドランプコネクタを①ヘッドランプに接続して下さい。
- (5) 取外したパーツを取付けてください。



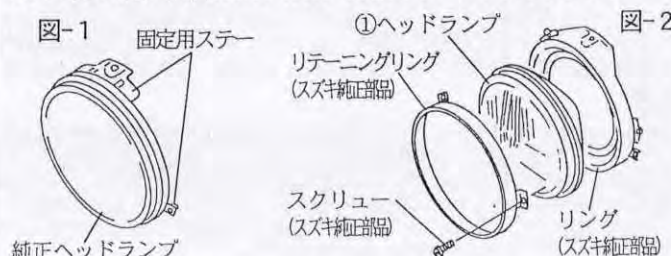
### CL-1 取付方法

- (1) 純正装着のヘッドランプを外し、逆の手順で①ヘッドランプを取付けてください。

#### 【CL-1 一部のスズキ車への装着について】

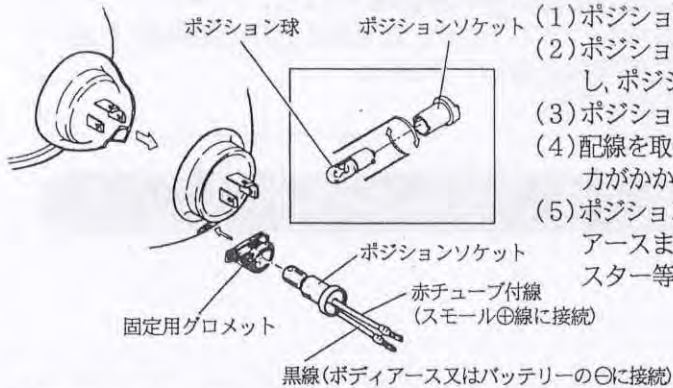
図-1のように固定用ステーがヘッドランプに直接取付けられている車両は、スズキ純正部品を別途お求めになり、図-2の要領でCL-1に組み付けて下さい。

スズキ純正部品 品番:35130-45030 品名:リング×1  
スズキ純正部品 品番:02112-04103 品名:スクリュー(φ4×10)×3  
スズキ純正部品 品番:35127-45030 品名:リテーニングリング×1



# ポジション球の装着方法

本機にはポジションランプ用ソケットを標準装備してあります。ポジションランプをご使用になる場合は、5Wの「BA9S」口金を持つ電球をご使用下さい。



- (1) ポジションソケットにポジション球を取付けて下さい。
- (2) ポジションソケット固定用グロメットが確実にランプに装着されているか確認し、ポジションソケットを取付けて下さい。
- (3) ポジションソケットがハーネス等に干渉しないかよく確認して下さい。
- (4) 配線を取付ける際には長さに充分余裕を持たせ、ポジションソケット部に無理な力がかからない様に注意して下さい。
- (5) ポジションソケットの赤チューブ付線にスモールランプの⊕線を、黒線をボディアースまたは、バッテリーの⊖端子に接続して下さい。スモールランプ⊕線はテスター等で確認して下さい。



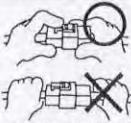



# バルブの交換方法

- (1) ヘッドランプから車両ヘッドランプコネクターを外して下さい。
- (2) ゴムキャップを外して下さい。
- (3) バルブ止めスプリングを外し、バルブを交換して下さい。※バルブが確実に固定されていることを確認して下さい。
- (4) 隙間ができない様に、ゴムキャップを装着して下さい。※ゴムキャップは奥まで確実にはめ込んで下さい。
- (5) 外した手順と逆の要領でランプを復元して下さい。
- (6) 作業終了後点灯の確認を行って下さい。

## ⚠ 注意

・組み付け後、外した部品が確実に固定されているか確認して下さい。

# 使用上の注意事項

								
ショート事故防止のため、必ずバッテリーの⊖端子を外して下さい。	裏側のハーネスを引っかかりたり、咬み込んでボルト・ナットを付けないで下さい。	取付穴を開ける時は、必ず裏側に何も無いことを確認して下さい。	ハーネスは強く引っ張らないで下さい。コネクター外れや断線の原因になります。	コネクターは、リード線を引っ張らず、コネクター本体を持って必ずロックを外して下さい。	コネクターやターミナル端子は確実に接続して下さい。	ハーネスやリード線は、プラスチックタイラップやビニールテープ等で固定し、タイラップの余り部分は切断して下さい。	バッテリーの⊖端子を接続する前に、もう一度取付けや配線に誤りが無いか確認して下さい。	作動確認を行うとき、車両のランプ等の電装部品が正常に作動するか確認して下さい。

●運行前には必ず以下のように運行前点検を行って下さい。

- ① ランプを点灯させ、明るさが不足していないか、照射方向が狂っていないか目視などにより点検します。
  - ② ランプのレンズに破損、ひび割れがないか確認し、確実に取付けられているか手で触って点検します。この時、ランプの消灯直後や点灯中はヤケドの危険がありますのでご注意下さい。
- ※ハロゲンバルブは消耗品です。走行中のトラブルを防ぐため、定期的な交換をおすすめします。

●本機は二輪車用ヘッドランプです。それ以外には絶対にご使用にならないで下さい。●本機の取付けはヘッドランプ等の車両部品を外して行いますので、外したパーツの紛失やパーツへ傷などを付けないように慎重に作業を行って下さい。販売店や整備工場への取付依頼をお奨めします。●本機に異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、原因を廃除して下さい。●取付作業は、十分なスペースのある平坦な場所で行って下さい。●ランプ点灯時や消灯直後のランプのレンズ面に水をかけたり、洗車機にかけたりすると温度差によりレンズが割れる場合がございますので、ご注意下さい。また、点灯走行中に多量の水や雪がかかっても割る場合がございます。●ハロゲンバルブのガラス部は高温になる為、油分や汚れ等が付着しますと性能・寿命等に影響する場合がございます。汚れた場合はアルコールを脱脂綿に含ませ汚れを拭き取ってからご使用下さい。●本機は完全防水ではありません。万一、灯具内に水が入った場合は、速急に水を抜き、内部を乾燥して、ご使用下さい。そのままのご使用は、反射鏡を痛めます。

## ⚠ 警告

●バルブ交換の際は必ず標準装着のバルブまたは弊社が推奨するバルブをご使用下さい。それ以外のバルブを使用した場合のトラブルは一切クレームの対象とはなりませんのでご注意ください。●点灯時や消灯直後のランプ、バルブ、カバー、ハーネス等は高温になるため、手を触れますと、ヤケドの原因になります。●紙や布などの燃えやすい物を近づけないで下さい。火災の原因になります。●点灯中のランプを間近で長時間見つめないで下さい。目が痛くなったり、視覚障害の原因となることがあります。●バルブ交換時には、定格(ボルト、ワット)、口金形状、ソケット、バルブ、配線の位置を確認し、確実に装着して下さい。脱落、過熱の原因になります。●バルブ交換時には、バルブに灯具やコードの一部が触れないことを確認して下さい。過熱の原因になります。●取付時には、端子の結合、絶縁カバーの装着を確実に、コードの咬み込み、よじれの無いよう、確実に装着して下さい。ショートや過熱による車両火災の原因になります。●ランプやランプの付近に触って作業を行う場合、ランプ点灯中、消灯直後はランプが熱くなります。電源を切り、ランプの熱を冷ましてから取付けや作業を行って下さい。ヤケドの原因になります。●バルブのガラス球内部は、圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、ランプからバルブを出して(バルブだけで)点灯しないで下さい。また、使用済み電球は割らずに廃棄して下さい。バルブ破片飛散によりケガの原因になります。●ランプの光軸調整は正しい設備のある場所で正しい方向へ調整して下さい。他車へ幻惑を与え、交通事故を誘発させる原因になります。

## ⚠ 注意

●ランプに強い衝撃を加えたりとバルブ切れやレンズ破損の原因になりますのでご注意ください。●エンジン停止時や停車時に、ランプの連続点灯を行いますと、バッテリー上がりになる場合がありますので、ご注意ください。●エンジン始動直後に電圧が高くなる車両は、バルブ切れの危険があります。●電圧の高い車両はバルブ切れが起こりやすい場合があります。●使用中にヒューズが切れた場合は、原因を確認し原因を廃除した後、指定のヒューズに交換して下さい。●誤った使用、改造されたの使用、他社製品との使用によるトラブルは、その原因に関わらず、一切クレームの対象となりませんので、ご注意下さい。●品質には万全を期しておりますが、万一製造・出荷上の原因による不具合がございましたら、販売店又は当社までお問い合わせ下さい。●ご不明な点がございましたら、販売店又は当社までお問い合わせ下さい。